～日本海海洋交流の歴史解明に向けて～

潜水調査の様子（大安在浜沖）

文化財グループでは、海中に所在する遺跡や船を調査するため、九州国立博物館の佐々木蘭貞氏（アソシエイトフェロー）と東海大学の木村淳氏（講師）に来町して頂き、水中遺跡の今後の調査の進め方についてアドバイスをもらいました。

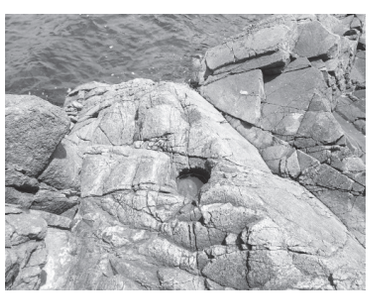
今回の現地調査は、大安在浜沖の昇平丸の座礁沈没地点と上ノ国漁港沖に所在する上ノ国漁港遺跡の場所でスキューバダイビングを実施して、海底の様子を確認することを目的に行われました。

現在、文化庁では水中遺跡を海を使った交流の歴史を知る上で欠くことができない文化遺産と位置づけており、積極的な調査を推進しております。

水中遺跡は、水中に所在するという特殊な立地条件にあること、その調査や保存については、手法が確立されていないため、当町の取組みが注目されています。

今後は、音波（ソナー）による調査の他、漁師さんへの聞取りや海岸部分での痕跡の調査を実施して海を使った交流の歴史の一端を明らかにしていきます。

新たな知見については、町史編さん事業などに活用して広く周知したいと思います。


今回の調査で確認された船をつなぐ柱を据えた穴の跡（漁港西側の岩場）

汐吹愛宕神社例祭

ぼくらのマイ文化財

汐吹地区で例年、8月12日に開催されるお祭り。行列を先頭に猿田彦（神様）が汐吹地区内をねり歩き、恵比須（えびす）山の山車が後続で曳き回される。

山車の周りでは、音楽に合わせて踊りも披露され、お祭りを一段と盛り上げる！最後は、行列の先頭が参道を互いに身体をぶつけ合いながら登りきる迫力ある場面がみられる。

図書だより

図書新着ごあんない

＊火花散る	あさの　あつこ／著
＊万引き家族	是枝　裕和／著
＊むすびつき	畠中　恵／著
＊泥濘（ぬかるみ）	黒川　博行／著
＊傍流の記者	本城　雅人／著
＊がいなもん－松浦武四郎一代	河治　和香／著
＊正しい女たち	千早　茜／著
＊道具箱はささやく	岡瀬　弘樹／著
＊不　在	長月　天雲／著
＊さしすせその女たち	彩瀬　まる／著
＊血管が若返る水煮缶レシピ	椰月　美智子／著
＊看るカーアガワ流介護入門	村上　祥子／著
＊定年準備	阿川　佐和子／著
	楠木　新／著

絵本の読みきかせ

9月19日（水）　午後3時ごろ～

＊新しく入った絵本を中心に読みます。

開設時間：（火～金）　9：00～17：00

（土日・祝祭日）12：00～17：00

休 館 日：毎週月曜日、年末年始

場　　所：**上ノ国町民図書室**（ジョイ・じょぐら）

町史編さん事業の調査について

文化財グループでは、現在町史を作るため、各地で様々な調査を行っております。その取組内容の一部をこちらでご紹介致します。

木ノ子地区の大黒山の曳き回し！

桂岡地区のお祭りの様子です。

この町で行われる様々な活動も貴重な「まちの歴史」です！今回調査にご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後も引き続き、ご協力のほどよろしくお願いします。